

《別紙》

1 開催年月日 平成30年5月17日

2 開催場所 エフエム西東京会議室

3 委員出席

委員総数 6名

出席委員数 5名

出席委員の氏名

下川 隆 委員長

伊藤理香 委員

賀陽智之 委員

山本恒安 委員

小松真弓 委員

欠席委員の氏名

池田浩和 委員

放送事業者側出席者名

鈴木（代表取締役）

横山（制作室長）

飯島（ディレクター）

4 議 題

1) 番組「妊活ラジオ～先端医療の気になるあれこれ～」

2) 番組「西東京FMシネマ」

5 議事の概要

あらかじめ送付した番組を録音したCDを聞いていただき審議。

6 審議内容

1) 番組「妊活ラジオ～先端医療の気になるあれこれ～」

（小松）

医療用語が多く理解しにくかった

自分の経験したことが取り上げられた事はすんなり理解できた

制度改正を希望したいこともあり、広めてほしいと感じた

CFMとしては、なかなか内容が難しい感じだった

(池田)

医療関係用語等が多く理解しにくい
様々な実情などが番組で伝えるには正確に伝えなければならないテーマ
様々な誤解を招かない様に伝える必要がある(公平性)

(山本)

様々な現実を番組を通して知ることが出来た
内容はかなり重く感じた
番組テーマ が大変良かった

(下川)

大阪方面の方がパーソナリティなのが気になった
染色体異常の場合の妊娠中絶度が高い等現状が分かった
家族が出産時期であり聞かせてあげたいと感じた

(ディレクター 近藤)

パーソナリティが大阪であり、関西方面が多い内容
内容が難しくなりがちでテーマも重いのでBGM等は明るい曲を選定している
製作をしては医療専門的な話になりがちであるが、なかなか難しいことは
事実であるが改善していきたい
倫理的な部分が多い 中立公正に常に気を付けていきたいが、番組を行っている
会社として進めていきたい事も賛否あるため難しいところであるが工夫出来
るところ等含め課題として今後も取り組みたい
専門医療機関も聞いている、番組を聞いて検査を実施導入するきっかけになっ
ている
近隣の医療機関であり番組にご出演も検討したい

1) 番組「西東京FMシネマ」

(小松)

10分があっという間に感じた
話が面白く、CFMならではの番組 パーソナリティがどんな人か良く分かった
映画が好きで楽しく興味深く聞く事が出来た
映画の素晴らしさが強く伝わってきた
紹介された映画を見たくなった

(山本)

映画を通して触れ合うというポリシーは良い
20周年記念番組としてではなく長く続けてほしい

(下川)

緊張が感じられたが、映画好きは大変良く感じた
アシスタントがナビゲーターとしていて話をうまく引き出せていた
映画館が無い街に映画館を作るという件 は良かった

(池田)

映画を大画面で観るなど、映画を改めて認識する意味でも良かった
音のバランスが少々気になった (イヤホンで聞いた)
途中途中で、抽象的な表現があり気になった

(ディレクター 横山)

シネマクラブ20周年となり、とりあえず1年間放送でスタート
初回は、会長とアシスタントが絡む構成、それ以降はゲスト形式になっている
今後は、レギュラー2名で進める構成となる
音量のレベルは今後改善課題としたい

7 審議機関の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

なし

8 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法

自社放送 事務所への備置き 自社ホームページへの掲載

9 その他参考事項

なし